



落日後の三番瀬海浜公園／撮影者：吉野 克己 様

小学校・中学校の耐震改修費39億561万円を含む補正予算を可決 ～耐震工事は27年度中に完了予定、今後は老朽化した校舎の改修・保全対策が必要～

年頭のあいさつ

第58代議長 長谷川 大



市民の皆様方におかれましては、穏やかな初春をお迎えになられたことと、お喜びを申し上げます。

さて、国では昨年、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、地方の創生を目指し、地方創生担当大臣の任命や法律の整備等を行いました。

私たちの船橋市においても、新たな年を迎えた今、本市の持っている特性を活かし、市民の皆様が将来に夢や希望を持てる、誰もが安心して暮らすことができる船橋づくりを推進するため、二元代表制の一翼を担う市議会の権能を最大限発揮して、これまで以上にまちづくりに貢献してまいりたいと考えております。

そのため、市議会では、議会活動を市民の皆様にはわかりやすくお伝えするため、昨年から委員会の生中継や録画映像のインターネット配信をはじめ、積極的に情報発信を行っており、今年も身近な船橋市議会を目指して、活動を行ってまいります。

今年は、未年でございます。群れをなす羊は、家族の安泰を示しつつまでも平和に暮らせる事を意味していると言われております。

市民の皆様にとって平成27年が、平安な1年でありますことをお祈りいたしまして、私の新年のご挨拶といたします。

平成26年第4回定例会は、11月19日から12月19日までの31日間の会期で開かれました。

今定例会では、初日に平成25年度各会計決算を認定したほか、市長から26議案、議員から14議案が提出され、老人福祉センターの指定管理に関する議案など、32議案を可決しました。

目次

議案の概要・議案質疑	P2,3
会派の抱負	P4~7
各委員会の報告	P8
閉会中の委員会報告	P9,10
一般質問	P11~15
議案の議決結果、請願・陳情の議決結果	
可決された意見書、会派の構成	P16

※会派名・所属については、質問日・議決日時点となっております。

議案の概要

今定例会に市長及び議員が提出した議案の内容です。

平成26年度補正予算

○一般会計補正予算 **【第1号】**

補正額 40億7933万6千円

・耐震改修費(小学校費)等

○下水道事業特別会計補正予算**【第2号】**

継続費補正額 4507万円

・高瀬・金杉幹線管渠築造事業

○一般会計補正予算 **【第18号】**

補正額 1億3000万円

・人件費ほか

○一般会計補正予算 **【第24号】**

補正額 1億7200万円

・選挙費

新しい条例

○歯科診療所条例 **【第4号】**

新たに歯科診療所を設置するに当たり、その設置及び管理について規定するもの。

○民生委員の定数を定める条例**【第6号】**

民生委員法の一部改正に伴い、民生委員の定数について所要の定めをするもの。

○指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例 **【第21号】**

介護保険法改正に伴い、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等について、所要の定めをするもの。

○指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例**【第22号】**

介護保険法の一部改正に伴い、指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準等について、所要の定めをするもの。

○地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例 **【第23号】**

介護保険法の一部改正に伴い、地域包括支援センターの職員に係る基準等について、所要の定めをするもの。

改正する条例

○消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 **【第3号】**

政令の一部改正に伴い、規定の整備を行うもの。

○手数料条例の一部を改正する条例**【第5号】**

千葉県条例等の一部改正に伴い、規定の整備を行うもの。

○婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例**【第7号】**

婦人保護施設の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、規定の整備を行うもの。

○児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 **【第8号】**

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、規定の整備を行うもの。

○障害児通園施設条例等の一部を改正する条例 **【第9号】**

児童福祉法の一部改正に伴い、規定の整備を行うもの。

○病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 **【第10号】**

産科医療補償制度の見直しに伴い、分べん介助料の額について、所要の改正を行うもの。

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **【第19号】**

国家公務員に対する人事院勧告等にならない、一般職の職員の給与を改定するもの。

○特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例 **【第20号】**

一般職の職員の給与改定にならない、市長等の期末手当の額を改定するもの。

○国民健康保険条例の一部を改正する条例**【第25号】**

健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の額について、所要の改正を行うもの。

○指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例 **【第26号】**

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、規定の整備を行うもの。

契約関係

○二重川2号幹線管渠築造工事請負契約の締結について **【第11号】**

契約金額 12億3697万6056円

○湊中学校校舎改築工事請負契約の変更について **【第12号】**

契約金額 12億3673万3200円

指定管理者の指定について

○東老人福祉センター **【第13号】**

○中央老人福祉センター **【第14号】**

○北老人福祉センター **【第15号】**

○西老人福祉センター **【第16号】**

○南老人福祉センター **【第17号】**

議員提出議案

○農業委員会委員の推薦について **【発議案第1号】**

議会推薦委員の辞任に伴う候補者推薦
松 裕 次

議案質疑

今定例会に提出された議案について市長に対して質疑したものです。

市政会

日色 健人

第1号

質問 西船跨線橋の耐震補強工事に関わる費用とのことだが、現在の西船跨線橋の状態はどうか。通行に危険を生じる状況なのか。

答 道路部長 日常の通行に危険を生じるような損傷は認められていない。昭和55年以前に架設された重要橋梁として耐震補強を行うものである。

質問 市内の他の橋梁の耐震化状況はどうなっているか。

答 道路部長 市内橋梁のうち緊急輸送道路等全24橋梁を重要橋梁と定めており、そのうち17橋の耐震補強が必要。平成25年度末時点で10橋が完了しており、残り7橋については平成31年度までに完了する見込みである。

民主党

斉藤 誠

第1号

質問 放課後子供教室の利用率を上げるには拠点スペース改修等だけで十分か。

答 管理部長 地域の方々の協力も非常に大切である。今後さらに地域ボランティアの確保に努め、事業の充実を図る。

質問 橋梁費に関して、跨線橋と橋脚

との接続部分の耐震補強は万全であるか。

答 道路部長 西船跨線橋の耐震補強工事は、橋脚の壁部分の補強に加え落橋防止装置等設置や縁端拡幅等を行っている。

無所属

はまの 太郎

第4号

質問 休日急患・特殊歯科診療所の受診者は、障害者と介護を要する高齢者が、手帳の取得や要介護認定は必要か。

答 健康部長 必ずしも要件ではない。

無所属

高橋 宏

第19号

質問 最大4%、平均2%の引き下げと1号俸昇給抑制はしないのか。

答 総務部長 職員団体と交渉を進める中で対応していきたい。

公明党

鈴木 いくお

第11号

質問 三咲小学校から関東財務局二和宿舎、二和商店街、カラオケ店を経て味が丘3丁目に至る、市民を大いに悩ます浸水被害を早期に軽減するために雨水貯留管として運用することを目的とした、二重川2号幹線管渠工事であり、1時間50mmに対応でき、貯留できる雨水量は、4000トンと伺っている。小学校の25mプール16杯分とのことだが、なぜ、こんなに年数がたったのか。安全対策は。

答 下水道部長 以前の雨水対策の下流から段階的に整備する手法では多大な時間や費用を要すが、溢水個所の雨水を直接、貯留することで、時間と費用を削減した。三咲小学校等の安全対策については専任の誘導員を配置。

間や費用を要すが、溢水個所の雨水を直接、貯留することで、時間と費用を削減した。三咲小学校等の安全対策については専任の誘導員を配置。

自由民主党・無所属の会

鈴木 和美

第1号

質問 放課後子供教室にて導入を予定している入退室システムについて、学習塾などで利用されている保護者へのメールによる入退室通知の実施を。

答 管理部長 平成27年度中に具体的な運用の調整やテストを行い、28年度の全校実施への対応を図っていく。

第4号

質問 障害児及び障害者、介護を要する高齢者への、特殊歯科診療を2カ所で実施することによる利用者のメリットは。

答 健康部長 利用者の増加が見込まれるため、専門性の高い常勤医を配置することによる混雑緩和と、地域的な偏りがみられることから設置することで利便性の向上につながることを考えている。

日本共産党

関根 和子

第1号

質問 マイナンバー制度で生じる事務量と費用対効果としてのコスト試算は。

答 総務部長 整備総額は、約三億七千万円。費用対効果の数値化は難しい。

質問 放課後ルームの待機児童解消の見通しを市民に示さず、放課後子供教室の整備だけ着々と進めるのは予算の付け

方が逆転していないか。

答 副市長 現在作業中であり、予算編成作業の中で総合的に検討をしている。

第6号

質問 高齢化社会を鑑み、民生委員の増員と年齢制限の見直しを。

答 健康福祉局長 三年に一度の改選の際に定数の見直し、年齢について新任、再任とも75歳未満の者と改正した。

凍(りん)

つまがり 俊明

第1号

質問 放課後子供教室は、ハード面の整備だけでなく人材登録者を増やしていくことが大切だ。コーディネーター、教育活動推進員、ボランティアの人材確保についてどう考えているか。また人材募集の広告周知は十分に行われているか。

答 管理部長 人材確保は非常に大切だと認識している。求人誌や新聞折り込み等を活用し、引き続き職員の確保に努める。またPTA関係者等への声かけを行い、地域協力者の人材確保にも努める。

質問 多様な年齢層や背景を持った人物をコーディネーターとして確保していく必要があるのではないか。

答 管理部長 教員経験者の他に、教員や保育士の資格保有者の配置も検討する。

市民社会ネット

浦田 秀夫

第1号

質問 総工事費243億円を要した学校舎の耐震改修工事は、今回の補正予算

算によって27年度中に完了するが、今後は老朽化した校舎の改修・保全対策が必要。その計画や財源確保について見解を。

答 管理部長 外壁塗装や屋外防水等は公共建築物保全計画にそって中長期的に改修を実施。財源は、国への補助申請等や企画財政部と協議し確保に努める。

第4号

質問 特殊歯科診療の拡充強化を評価するがこれまでの利用者の実績や反応は。

答 健康部長 さざんか歯科診療所の実績は1日当たり51人、高齢者や障害者の方から「車椅子で通えて助かる」「安心して通っている」等の声を聞いている。

みんなの党・無所属の会

いそべ 尚哉

第19号

質問 一般職給与水準の引き上げについて。人事院勧告に準拠したものとはいえず、慎重な判断が必要だったのでは。

昨年の市長選では給与水準の見直しを掲げる候補者が複数おり、それら候補者に対し市民の支持は数多くあった。

今回の水準引き上げは、そのような思いを持つ市民と市政との間に心の距離が生まれないか。市長に伺う。

答 市長 今回一時的には引き上げに移るよう見えるかもしれないが、長期的な視点で恒久的に影響を得られるやり方で取り組み、ラスパイレース指数などの引き下げや職員の働きぶりをしっかりとしたものにする一方で、市民との心の距離を逆に縮めていく。

※本会議の会議記録は議会事務局及び図書館・公民館で、委員会記録は議会事務局でご覧になれます。なお、いずれも市議会のウェブサイトでも公開しております。

会派の抱負

自由民主党・無所属の会



いそべ 尚哉 島田 たいぞう 杉川 浩 川畑 賢一 中原 しんすけ
佐々木 克敏 田久保 好晴 鈴木 和美 長谷川 大 中村 実

明けましておめでたうございます。
今年も宜しく御願ひ申し上げます。

昨年十二月、私共の會派に新しく二人加入、船橋市議會最大會派となりました。

議會制民主政治は多數派制の政治制度ですから、多數になれば市民の皆様からの聲も幅廣く市政に反映出來ます。

戦後レジームの脱卻が唱へられてゐます。讃成です。

戦後のどさくさの昭和二十一年十一月十六日、語義も語法も字義も無視した「現代かなづかい」「当用漢字」を時の吉田内閣は訓令告示致しました。その後昭和五十六年に當用漢字は常用漢字に、現代假名遣は國語を書き表すためのよりどころを示すと昭和六十一年に改變され、拘束性こそ弱められはしましたが、根本的には昭和二十一年の内閣訓令告示と變はつてはゐません。

中學生は日本國憲法を社會科で勉強しますが、教科書には常用漢字、現代假名遣で憲法は載せられてゐますから、學校での勉強では原文は讀めません。憲法の公布は現代假名遣、當用漢字の訓令告示二週間前でしたから正漢字正假名で表記されてゐるからです。

正漢字正假名復舊は戦後レジーム脱卻第一歩だと私共は考へます。

今年一年が市民の皆様にとりまして幸多き年となりますやう祈念致します。

多數に倣ふことなく謙虛に市政の發展に盡力して参ります。

何卒倍舊の御支持、御鞭撻を御願ひ申し上げます。

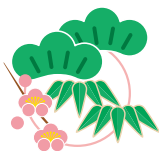
民 主 党

- 議員定数削減をめざします。
- 待機児童ゼロをめざします。
- 特別養護老人ホーム待機者ゼロをめざします。



齊藤 誠

野田 剛彦



会派の抱負

公明党



仲村 秀明 松寄 裕次 鈴木 いくお 松橋 浩嗣
藤川 浩子 高木 あきら 斎藤 忠 橋本 和子 石崎 幸雄

明けて
おめでとう
ございます

昨年十一月、公明党は結党五十年の佳節を迎えました。大衆の行き場のない声や要望、期待である「衆望」を担って誕生したのが公明党です。

国、地方を合わせた三千人の議員による、ネットワークを生かしながら「大衆とともに」という不変の立党精神を胸に、国民市民の、真のニーズをつかみ取るため、「政策力」「発信力」「拡大力」「現場力」を更に磨き、次の五十年へ力強くスタートダッシュをしてまいる決意です。

市政会

私達「市政会」は議員にふさわしい見識と使命感を持ち、市民の皆様の負託に応え、議会及び市政の発展を目指します。



日色 健人 中村 静雄 渡辺 賢次

会派の抱負



中沢 学 石川 敏宏 佐藤 重雄
岩井 友子 金沢 和子 関根 和子 渡辺 ゆう子

日本共産党

市民が主人公の市政をめざします

○国民健康保険料・介護保険料の引き下げ、
特別養護老人ホームの増設など福祉を充実します
安心して暮らせるまちに
○認可保育園を増やし、待機児童をなくします
子育て支援や教育の充実で、子どもが大切にされる街に
○水害対策や道路整備をすすめる、災害に強い安全なまちに
財源調整基金の残高は過去最高の261億円、
豊かな財政力を市民の暮らしに活かします

これからも、 みなさんと力を合わせます

- ・消費税10%はキッパリ中止
- ・格差拡大のアベノミクスはストップ、人間らしく働けるルールをつくり景気回復
- ・原発ゼロ、再生可能エネルギーに大転換
- ・秘密保護法廃止、集団的自衛権行使容認撤回！憲法9条を生かす平和外交へ

市民の願い・ 思いに寄り添って

市民社会ネット



三宅 桂子 池沢 敏夫
朝倉 幹晴 浦田 秀夫

明けておめでとうございます

市民社会ネットは、中央の政党に所属しない市民派の議員で作った会派です。

今年も、子育てや介護・医療の充実、災害に強いまちづくり、歩行者の安全確保、緑と自然環境の保全、脱原発・再生可能エネルギー導入促進など、市民の皆さんの思い、願いに寄り添いながら、「住んでよかった」と言える船橋市をご一緒に創ってまいります。

次の定例会は、2月19日(木)から3月26日(木)までの36日間の会期を予定しています。請願・陳情の受理期限は2月18日(水)午後5時です。
【傍聴のご案内】 本会議や委員会は傍聴することができます。
○本会議：開会日(2/19(木)、質疑(2/27(金)3/2(月)6(金)、閉会日(3/26(木))
○委員会：3/10(火)13(金)、16(月)、18(水)20(金)、23(月)
なお、傍聴の際、お子様(1歳から就学前の幼児が対象)をお預かりします。希望者は利用日の7日前迄に議会事務局(TEL:0471-43613012)へ。

会派の抱負

自由民主党

梅かおる好き日 初春のお喜びを申し上げます
年頭にあたり私達は原点を見つめ直し真髓を見極め
市民とともに誇れる船橋を築くために
「二心不乱」に働きます
今年も宜しくお願い致します



佐藤 新三郎

七戸 俊治

大矢 敏子

瀬山 孝一

浅野 正明

川井 洋基

凜（りん）

松戸市政では「接遇日本一」の目標を掲げ、職員の意識改革も少しずつ進んで参りました。私達議員も、より市民と市政のために、地域に根差して全力で働くことが求められています。今、本市は緩やかに人口が増えています、少子高齢化や厳しい財政状況も目前に迫ってきています。市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、限られた財源の中で、防災、まちづくり、福祉、教育などに取り組む必要があります。

私たち会派「**凜**」は、自らの良識と信念に則り、市長部局や教育委員会、そして議会においても、言うべきことは言うという「**凜**」とした姿勢を本年も貫いてまいります。



つまがり 俊明

大沢 久

小石 洋

神田 廣栄

無所属

オリンピックまでに船橋港の青潮対策。道路問題課題の解消。太陽力利用の推進。財政力を高める提案。がんばります。



やぶうち 俊光

揺るがない、動じない、諦めない

不撓不屈の精神で高橋宏が掲げる政策実現に向けて、引き続き覚悟をもって頑張ります！

無所属



高橋 宏

無所属

子ども達に、お年寄りに、障がいのある人にも、ない人にも、やさしい街づくりを目指します。



はまの 太郎

各委員会の報告

付託された議案・請願・陳情等について、それぞれ担当する内容を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。

予算特別委員会



議案

第1号は、「市民や子供たちに将来にわたって負担を求めることになる深刻な内容が含まれており、賛成できない」との反対討論、「北部公民館の建替費や学校の耐震化工事等の補正であり、利便性・必要性の面から賛成」「番号制度導入に必要な経費や放課後子供教室の入退室管理システムなど、いずれも必要性が高い」「小中学校の耐震改修について、50年にかかると思っていたものを約7年でやったことは、大いに評価する」との賛成討論があり、賛成多数で可決した。

総務委員会



議案

第3号は、「政令改正に伴う必要な手続である」「補償内容の改善につながる」との賛成討論があった。

第19号は、「増額改定なので賛成」「一般職職員の待遇の改善は望ましい」「人事院勧告に基づく改定なので賛成」との賛成

成討論があった。

第20号は、「一般職職員の給与とのバランスをとるために必要である」との賛成討論、「議員の手当や報酬は削るべき」「特別職の手当を一般職職員と同等の考えで引き上げるのは反対」との反対討論があった。

採決の結果、第3号及び第19号は全会一致で、第20号は賛成多数で可決した。

決算特別委員会



一般会計は、不認定の立場で「市民負担をふやしての積立金増は、自治体の本業が住民福祉の増進にあることから本末転倒の財政運営と言える」、認定の立場で「おおむね責任ある予算執行である」「引き続き安定的な財政運営と安全安心の市民生活向上に取り組むよう要望する」「市長が指導力を発揮して市政のことに取り进行することを期待する」「小中学校の耐震化事業で入札不調が生じた。早期の事業実施へのさらなる努力を要望する」「アンデルセン公園が日本の人気テーマパーク第10位に入るなど、魅力ある公園整備をしたこと等を評価する」「退職金手当や持ち家手当を見直し、減額を執行したこと等を評価する」「市長が選挙公約で掲げた施策の推進に期待する」との討論があり、賛成多数で認定した。

市民環境経済委員会



陳情

第43号は、「他市で事例はあるのか」「英語表記の追加によりごみ袋の値段は変わるのか」等の質疑があった。

採決の結果、全会一致で採択と決した。

健康福祉委員会



議案

第4号は、「要介護高齢者の増加により利用者が増加する」「指定管理者と市の責任が明確化する」「指定管理が適当である」「口腔内の健康保持が健康管理に意味を持つ」との賛成討論があった。

第6号は、「定数を満たすための条件整備を要望する」との賛成討論があった。

第10号は、「スケールメリットによる安定運営が可能」との賛成討論があった。

第13号から第15号及び第17号は、「地域包括ケアシステムでは、予防や地域支援の中核になる組織であり、直営にすべきである」との反対討論があった。

第13号は、「多様なサービスの提供を要望する」との賛成討論があった。

第16号は、「生きがい福祉事業団の登録会員を意識すべきである」との反対討論、「指定管理者制度の機能が疑われないよう要望する」との賛成討論があった。

第26号は、「家族で全ての面倒を見ていく状況を改善することを要望する」「本市に設置することを要望する」との賛成討論があった。

採決の結果、第4号から第10号、第21号から第23号及び第25号は全会一致で、第13号から第17号は賛成多数で可決した。

建設委員会



議案

第11号は、「水害が多発する状況のため、習志野台地域等の整備事業の早期着手も要望する」「工事を行う道路は地域住民が行き交うため、安全な手立てをとることを強く要望する」との討論があった。

採決の結果、全会一致で可決した。

文教委員会



議案

第12号は、「現場の管理に配慮を」との賛成討論があり、全会一致で可決した。

陳情

第46号は、「学区変更は物理的に不可能」「相談窓口の利用を」「防犯上の対策を」との不採択討論、「少なくとも選択学区に」「増築などで対応を」「道路の境目で学区変更も」との採択討論があり、賛成少数で不採択と決した。

閉会中の委員会報告



議会の閉会中においても、所管に係る懸案事項などについて調査研究をします。前定例会閉会後から今定例会開会前までに開催された各委員会の活動を報告します。

議会運営委員会



反問権・反論権及び議員が議員に対して行う質疑・答弁の運用に関して、第4回定例会でも試行を継続することに決定したほか、発議案の取り扱い方法を、実態に照らし合わせて変更しました。

また、衆議院解散を想定し、解散した場合の第4回定例会における議事の確認を行いました。

10月7日 会議

- ・議会改革について「二 執行部関連」反問権・反論権の付与 ・議員に対して行う質疑方法について
- ・第3回定例会の発議案第8号の表決について ・発議案の取り扱いについて ・視察について

11月14日 会議

- ・第4回定例会の審議日程等について

総務委員会



仙台市では総合計画の進捗管理と評価、また、宮城県、盛岡市、岩手県では行政評価の取り組みについて説明を受け、質疑を行いました。なお、盛岡市では指定管理者制度の第三者評価、岩手県では行政品質向上運動についても説明を受けました。

11月11日～12日 視察

- ・**仙台市**（総合計画の進捗管理と評価について）
- ・**宮城県**（行政評価の取り組みについて）
- ・**盛岡市**（行政評価の取り組みについて及び指定管理者制度の第三者評価について）
- ・**岩手県**（政策評価の取り組みについて及び行政品質向上運動について）



仙台市での視察風景

健康福祉委員会



秋田市にて自殺予防総合対策を調査事項として行政視察を行うに当たり、本市の自殺対策に関して調査研究を行いました。また、深刻な待機児童問題が起きている都市計画上の問題を明らかにし、今後どのように改善していくのかということについて調査研究を行いました。

10月8日 会議

- ・自殺対策について ・(仮称)保健福祉センターの建設工事の進捗状況報告について
- ・平成26年度第5回船橋市子ども・子育て会議の報告及び子ども・子育て支援事業計画について
- ・船橋市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例他2条例の骨子案について

10月14日～16日 視察

- ・**帯広市**（精神障害者支援の取り組みについて(帯広ケア・センター)）
- ・**恵庭市**（恵庭市子どもの居場所づくりプランについて）
- ・**小樽市**（(1)第2次小樽市健康増進計画「第2次健康おたる21」について
/ (2)小樽・北しりべし成年後見センターについて）
- ・**秋田市**（自殺予防総合対策について）

11月12日 会議

- ・深刻な待機児童問題が起きている原因となっている都市計画上の問題について明らかにすると同時に、今後の改善策をどうしていくのかということについて
- ・平成26年度第6回船橋市子ども・子育て会議について
- ・歯科診療所の今後の計画について
- ・船橋市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例制定に伴うパブリックコメントの実施結果について



恵庭市での視察風景

広報委員会

大分市議会では、議員みずからが運営し毎年行う意見交換会について、役割分担や多くの市民参加のための工夫等について説明を受け、質疑を行いました。古賀市議会では、議会情報の積極的公開や市民が読みやすい紙面を目指す活動内容について説明を受け、質疑を行いました。

10月9日～10日 視察

- ・大分市 (市民と議会との意見交換会／若年層と議会との意見交換会について)
- ・古賀市 (市議会だよりの編集について)



大分市での視察風景

建設委員会

西浦下水処理場では、処理過程で生じる放流水の落差で発電可能な小水力発電装置の実証実験設備の視察を行いました。

また、浜松市では、拡幅事業実施地域の現地視察等を行い、豊川浄化センターでは、下水汚泥処理時に発生するガス等を活用した作物栽培等を行う試験施設の視察を行いました。

10月8日 視察

- ・西浦下水処理場 (放流水落差を利用した小水力発電装置の設置について)

11月6日～7日 視察

- ・浜松市 (狹隘道路拡幅整備事業(指定道路台帳作成)について)
- ・愛知県 (下水汚泥を利用したバイオマス・CO₂・熱の有効利用について(豊川浄化センター))



浜松市での視察風景

文教委員会

秋田県大仙市及び横手市を視察しました。大仙市では、小・中学校における学力向上の取組における、経緯や背景、具体的な取組内容と体制整備について、担当課より説明を受けた後、質疑を行いました。横手市では、①「スポーツ立市よこて」でまちを元気にする条例について、②横手市スポーツ振興計画について、横手市議会議員及び担当課説明を受け、質疑を行いました。

11月6日～7日 視察

- ・大仙市 (小・中学校における学力向上の取組について)
- ・横手市 (議員提案の「スポーツ立市よこて」でまちを元気にする条例／横手市スポーツ振興計画)

11月17日 会議

- ・海老ヶ作貝塚における宅地開発について ・視察を終えて



大仙市での視察風景

市民環境経済委員会

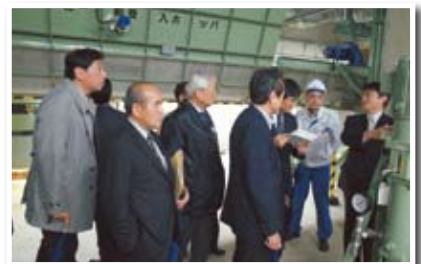
新潟市では「スマートエネルギー推進計画」について、黒部市では「下水道バイオマスエネルギー利活用施設」について、小松市では「特産品であるトマトを活用した6次産業化の取組」について説明を受け、質疑を行いました。

10月21日 会議

- ・四市複合事務組合の第2斎場建設に関する委員会での対応について

11月12日～14日 視察

- ・新潟市 (スマートエネルギー推進計画について)
- ・黒部市 (下水道バイオマスエネルギー利活用施設について)
- ・小松市 (特産品であるトマトを活用した6次産業化の取組について)



黒部市での視察風景

一般質問

市の一般事務に関して、事務の執行状況、将来の方針等の所信や疑問をただし、あるいは報告や説明を求めるものです。

企画・財政

こども未来会議

公明党 藤川 浩子

質問 船橋の未来をしようて立つ中学生との懇談の率直な感想を伺う。

答 市長 想像していた以上に自分が住むまちのことを考えているとわかり、とても嬉しく思った。出された提案の中から、事業化できるものがないか、担当課に戻して、何か一つでも実現できれば、自分たちの意見も生かされるんだということを知ってもらうことになるので、何とか一つやりたいと思っている。

消費税8%引き上げと市民生活

日本共産党 石川 敏宏

質問 社会保障等に必要な財源は、生活破壊を押し付ける消費税ではない。

答 市長 税引き上げは、国において議論され導入された。今後は、市民の方の声は受け止め、検討し、可能なものについては、取り上げ実施していきたい。

行財政改革による持続可能なまちづくり

凛(りん) つまがり 俊明

質問 不断の行財政改革が必要であると考えているが、市長の思いは。

答 市長 単なるコストカットではなく、市民へ安定的な行政サービスを提供するための効率化が必要。日々の業務での改

善意意識や、「本当の市政運営とは何か」という意識を、職員達と共有していきたい。

海を活かしたまちづくり

自由民主党・無所属の会 島田 たいぞう

質問 二俣交差点から潮見町に入るアクセス問題は。

答 企画財政部長 水上交通などの交通手段の可能性について検討している。

これからの公共施設利用のあり方

市民社会ネット 三宅 桂子

質問 今後の公共施設は、周辺市と相互利用すべきだと思いが協議するか。

答 企画財政部長 近隣市との協議の場で状況等を把握し、施設ごとに検討する。

船橋市「市民協働の指針」

無所属 はまの 太郎

質問 現状に合わせ改定すべきでは。

答 市民生活部長 改定を検討していく。

生活・安全

町会・自治会に行政の仕事を押し付けるな

日本共産党 中沢 学

質問 多くの町会・自治会から「行政の下請の様な仕事が多過ぎる」という声が上がっている。整理して負担の軽減を。

答 市民生活部長 負担軽減に取り組む。

自転車の安全走行確保

無所属 やぶうち 俊光

質問 北本町・夏見台間の坂道を、自転車を押して上がる人の安全確保は。

答 道路部長 警察と協議する。

古和釜・松が丘地区の消防力充実と強化

公明党 石崎 幸雄

質問 古和釜・松が丘地区の消防力充実と強化策として新消防署所整備を問う。

答 消防局長 同地区を最優先に整備すべく建設に向け用地選定・取得を進める。

町会・自治会館建設費補助制度の見直し

公明党 橋本 和子

質問 修繕の場合は、かかった自費×10分の8で限度額150万円と、非常に分かりやすいが、新築・増築の場合は、木造・鉄骨・鉄筋等構造の違いで、補助の基準単価が違つ。修繕の様に、かかった自費×10分の8で限度額を決めるなど制度の見直しができないか。

答 市民生活部長 他市を調査した結果本市の様に算定している自治体はないので、他市の制度を勘案しながら検討する。

防災

防災備蓄品の整備

自由民主党 大矢 敏子

質問 小中学校、公民館ともに粉ミルクの備蓄はしてあるが、ミルクをつくるためのお湯を沸かす燃料は、公民館にな

いので、固形燃料等備えるべきでは。

答 市長公室長 公民館については固形燃料の備蓄はなく、授乳等を考えた場合など、速やかな給湯の必要性も想定される。今後、備蓄スペースなどを確認し、必要な量の固形燃料を備蓄していく。



福祉避難所に固形燃料の備蓄を

ゲリラ豪雨対策に「田んぼダム」を

無所属 やぶうち 俊光

質問 豪雨対策に「田んぼダム」は。

答 下水道部長 有効性は承知。検討する。

防災

公明党 仲村 秀明

質問 本年十月の台風では市内で初め

て土砂災害危険箇所の住民に対し避難勧告が出され、実際に避難された方もいた。今後安全に避難できるように避難場所への経路に危険な箇所がないかなど、総点検も含め避難経路を定める必要がある。地域ごとの避難計画を策定すべきでは。

答 市長公室長 地域での協議を重ね、住民の意向に沿ったそれぞれの地域の区域ごとの避難計画を策定していく。

経済・産業

新規参入希望者向けの就農支援事業

民主党 野田 剛彦

質問 新たに農業を職業として希望する人々を、市の内外を問わず募集し支援する新規就農支援事業は、船橋市にはない。後継者不足について危機意識はあるか。また、事業導入に対する見解は。

答 経済部長 本市では他市に比べ就農率が高いが、高齢化に関しては危機感を持っている。県内各自治体の事業で、本市にとってどれが有効か調査検討する。

若年者の就労支援の充実を

公明党 松崎 裕次

質問 地域若者サポートステーションの開設から1年半、順調な成果を上げているが、現施設は相談用のスペースもなく、また企業開拓員などスタッフの増員も急務である。市としても支援すべきではないか。

答 経済部長 今後も利用者の増加が見

込まれる。国の補助は上限額に達している。市として施設面や適切な人員配置など委託団体と協議して対応する。

安定的漁業を営むための漁場の維持管理

自由民主党・無所属の会 杉川 浩

質問 どのように考えているか。

答 経済部長 漁場の維持管理の重要性は十分認識している。

子育て・健康・福祉

はじめてママになるための教室

自由民主党・無所属の会 鈴木 和美

質問 なぜ、平日のみの開催なのか。また、女性が仕事と子育てを両立していくために必要な情報を取り扱って支えていくことが必要ではないか。

答 健康部長 就労状況を把握するアンケート結果を取りまとめ、ニーズに合った取り組みを検討していく。

市民ニーズに応えた幼稚園

質問 幼稚園関係者から、予算要望書が提出されたと思うが市の見解は。

答 子育て支援部長 保育事業への補助などの施策について検討を行っている。

子育て支援

自由民主党・無所属の会 川畑 賢一

質問 坪井児童ホーム設置予定は。

答 子育て支援部長 候補地を検討中。

質問 アンデルセン公園入園料は子供を無料に高齢者にも負担願うべきでは。

答 副市長 検討する。

家庭的保育事業について

無所属 高橋 宏

質問 家庭的保育者が不在のまま事業を行っていた事例を把握しているか。

答 子育て支援部長 1件ある。

質問 他にも不正受給を疑っている。家族が補助者になっているのは何件か。

答 子育て支援部長 補助者の中に1人でもいるのは5名、内2名は家族だけ。

子育て支援と待機児童対策

日本共産党 岩井 友子

質問 今後、認可保育園の増設に具体的にどう取り組んでいくのか。

答 市長 重要な問題認識を持ってこれからもしっかりと取り組んでいきたい。



待機児童解消に向け積極的な取り組みを

介護保険料の引き下げ

質問 次期計画は、月千円近い値上げとなっている。繰り入れを行い、保険料は引き下げるべき。

答 健康福祉局長 国から一般会計の繰り入れを行わないよう助言されている。

就学援助制度の改善

日本共産党 渡辺 ゆづ子

質問 貧困世帯の子どもは6人に1人、母子世帯は5割以上が貧困という実態。全国の就学援助利用率15・6%に対し、船橋では小学校8・5%、中学校11・6%で利用が少ない。全員から制度利用の希望をとる、クラブ活動費等の支給、8月に支給される入学準備金を入学前に支給するなどの改善を求める。

答 学校教育部長 支払を早くすること、保護者の負担軽減はどのようなものがあるかということ、今後研究していきたい。

独居高齢者入浴券・利用日の限定はせず

日本共産党 中沢 学

質問 「入浴券をいつでも使える様にしてほしい」との声が多数寄せられている。銭湯のない地域には送迎バス運行を。

地域包括ケアシステム

日本共産党 佐藤 重雄

質問 居住がなければ他の機能は果たせない。居住が第一で、医療、介護の3本柱の条件を満たしていなければシステ

ムはいかせないと考えるが。

答 市長 本部を立ち上げてやっている。基本的にはご指摘と考え方は変わらない。

質問 経済力にに応じてなのか、経済力とは関係なく住宅を保障していくのか。

答 建築部長 経済力に応じて住まいを検討するという意味であり、経済力のない人を切り捨てるという考えはない。

西海神第2放課後ルームの増設

民主党 斉藤 誠

質問 平成28年度になり待機児童が絶対に発生しないようにしてもらいたい。

答 市長 極力待機児童を出さないよう、学校と協議を重ねていく。



現在、校舎の一角を使用して開設されている西海神放課後ルーム

育児休業と保育園入所判定時の点数加算

質問 育児休業の取得有無に関わらず入所判定時の点数加算は平等にすべき。

答 市長 十分に検討していく。

環境

三番瀬、マコガレイの産卵場所確保は 無所属 やぶうち 俊光

質問 漁業振興の立場から「マコガレイ」の産卵場所を増やしながらか東京湾水環境改善の一翼を担う必要は。

答 経済部長 議員提案を漁協に伝える。

三番瀬のラムサール条約登録

日本共産党 石川 敏宏

質問 登録に向けた市長の姿勢は。

答 市長 しっかりとした議論を丁寧に積み重ねていく。

まちづくり

自動二輪車の駐車対策

市政会 日色 健人

質問 市内の自転車等駐車場において、近年普及が進んでいる原付2種(51cc<125cc)の受け入れをすべきと考えるがどうか。

答 都市整備部長 原付2種の受け入れについては、千葉県オートバイ事業協同組合からも要望をいただいている。他市事例、また現在利用率の低い駐車場もある。現在策定を進めている「船橋市自転車等の駐車対策に関する総合計画」素案

の中で検討すべき事項としており、船橋市自転車等駐車対策協議会においてご意見をいただき、まとめていきたい。



利用状況に応じた柔軟な受け入れ態勢を

飯山満川の治水に関して

みんなの党・無所属の会 中原 しんすけ

質問 芝山にある調整池第1号と第3号を掘り下げるなどして、飯山満川の氾濫時に調節池として活用して飯山満川の水を逃がせるように県やURと交渉すべきと考えるが、市の見解は。

答 下水道部長 第3調整池を掘り下げするためには軟弱地盤であることなどから課題が多い。そういう中で、県に聞いたところ活用を検討していくとのことである。芝山東小学校の東側にある第1調整池の活用についても、駅前第3調整

池とあわせて飯山満の治水対策の検討を行っていくとのことである。



芝山東小学校の東側にある第1調整池

京成西船踏切

自由民主党・無所属の会 中村 実

質問 葛飾小学校を経て西船橋駅へのバス通り。踏切を渡り、魚料理店、床屋、中華料理店の前は、地権者の理解があり拡張されて久しい。踏切が、予定通りに拡張されていけば、危険な思いをせずに済む。困っている方は年々増えている。現状であるが故に起きる交通トラブルを今朝も耳に。猶予は無い。交渉の状況と具体的に解決するための考えは。

答 道路部長 地権者と継続的に交渉をしているが、未だ合意形成に至らない。集中的に交渉すると共に、収用を視野に

入れ、早期完成に向け鋭意交渉したい。



京成西船2号踏切の一日も早い拡幅を

船橋駅南口の交通広場の整備と回遊性

自由民主党 浅野 正明

質問 再開発事業は非常に重要な事業であり、交通広場の整備についてどのくらい意識をもって進んでいくのか。

答 都市整備部長 駅前広場の整備は必要と考えており、事業化については、地権者の合意形成など一定の期間が必要となる。整備が行われるまでの間、企画財政部が回遊性創出基本構想の策定を行っているので、何らかの利用ができないか企画財政部と連携して検討する。

通学路に面した危険なブロック塀の撤去

自由民主党 大矢 敏子

質問 撤去事業の補助金を利用し、9

件約140mの撤去が行われた。通学路に面したブロック塀の撤去の現状は。

答 建築部長 危険な約80件のうち、約2割は既に除去されており、残存しているものの4件が助成制度を利用して除去された。今後も、通学路に面したブロック塀撤去事業をすすめていく。

前原駅北の車除けポールを撤去せよ

凛(りん) 神田 廣栄

質問 前原駅北の道路路肩に多く立つ車除けポールは、違法駐車への苦情が特定人物から異常にあつたためと聞く。住民から不便だとの声が多く撤去すべき。

答 道路部長 注意喚起の看板設置等、違法駐車解消を図っているが、車除けポールの撤去は警察等と協議し判断する。



車除けポールが立ち並ぶ前原駅北の道路

北習志野駅周辺の駐輪場対策

市民社会ネット 浦田 秀夫

質問 用地確保が困難な北習志野駅周辺の駐輪場対策として、機械式地下駐輪場の整備が必要ではないか。

答 都市整備部長 建設費や管理費が高くなるが、用地購入が困難であることから有効な手法の一つとして設置を検討していきたい。

質問 当面の対策として、商店会側の歩道上の自転車対策は。

答 都市整備部長 道路管理者や警察とも協議の上、商店会と再度話し合いたい。



歩道上の駐輪についてあらゆる対策の検討を

教育・文化

公民館の付帯設備更新

市政会 渡辺 賢次

質問 減価償却年数を超えたあたりで、最新の設備に切り替えられるか。

答 生涯学習部長 音響や照明などの付帯設備も建物と同じく老朽化が進む。減価償却期間を考慮し、状況を確認しながら早めの対応をするよう考える。

生涯スポーツ

質問 パークゴルフ場設置の進捗は。

答 生涯学習部長 設置要件の整理を行っている。面積要件として1ヘクタール程度の用地が必要。適地を選定しているが条件等から相当期間必要である。

学校教育

自由民主党・無所属の会 川畑 賢一

質問 運動会・体育祭の国旗掲揚は。

答 学校教育部長 子供に国旗、国歌を正しく理解させたい。

質問 卒業証書の年度末発行は国語の作法破壊である。見直すべきでは。

答 教育長 現時点では見直さない。

部活動の役割に対する教職員の認識

無所属 はまの 太郎

質問 教職員が学校における部活動の役割等を学ぶ機会の有無と必要性は。

答 学校教育部長 研修等を検討する。

ふなばしミュージックストリート

公明党 松橋 浩嗣

質問 市内だけでなく市外からや職員もボランティアでイベントに参加し、市

民力で造るイベントになった。ボランティアでの参加者の反響はどつであつたか。

答 生涯学習部長 178名のボランティアスタッフのお力添えで、市民の力による市民の音楽イベントになった。「地元」の音楽イベントに微力ながらお手伝いできたことを誇りに思う」等、来年も続けて参加いただけるような反響があつた。



船橋駅周辺で開催された「ふなばしミュージックストリート」

文化芸術による子供の育成事業

公明党 斎藤 忠

質問 文化庁実施の本事業では子供たちに質の高い公演などを鑑賞・体験する機会が提供されていると伺っているが、本市での取り組みの実態は。

答 学校教育部長 本事業の「芸術家の派遣事業」では伝統的な楽器について学

び、実際に演奏を鑑賞したり楽器に触れるなどした。劇団等による「巡回公演事業」では劇やオペラを鑑賞した。今後とも、学校への本事業の周知に努める。

校庭の芝生化

公明党 石崎 幸雄

質問 芝生上を「チョー気持ちいい」と走る子供達に出来る校庭芝生化を問う。

答 管理部長 維持管理が容易で丈夫な芝の調査・研究を行いながら検討する。

文化芸術振興計画

自由民主党・無所属の会 島田 たいぞう

質問 すみやかに策定すべきでは。

答 生涯学習部長 今後、検討していく。

海老ヶ作貝塚の損壊

質問 二度と発生することのない具体的防止策は。

答 生涯学習部長 周知を徹底する。

特別支援教育

自由民主党・無所属の会 杉川 浩

質問 今後はどうあるべきと考えるか。

答 教育長 適切な指導及び必要な支援を行い、教育環境の一層の充実を図る。

質問 特別支援教育から社会人として社会の結節点までの市政のあり方は。

答 市長 その時々によさわしいサポートができ、次に繋がるやり方に努めているが、やらないといけないことはある。

清川記念館の建設

自由民主党 浅野 正明

質問 清川記念館を建てる必要がある

と考えるが、建設はなぜ遅れたのか。

答 生涯学習部長 建設にあたり隣接している土地の、船橋小学校の建て替え工事と同時期の工事は、安全確保が難しいことや、吉澤野球記念館の寄贈と活用について、美術館構想と一体化して検討する必要がある。昨年度から美術館運営等検討委員会を発足させ検討していることから建設が遅れている。

質問 市は検討委員会の検討結果を踏まえ、どのような美術館を建てるのか。

答 生涯学習部長 1人でも多くの皆様が繰り返し鑑賞していただけるような、船橋の個性に結びつく美術館としたい。

スクールカウンセラーの活動

自由民主党 大矢 敏子

質問 今後は、相談件数、相談者数などのデータを収集、分析し、カウンセラーの有効活用につなげるべき。

答 学校教育部長 活用に関する調査研究を進め、実情を分析し、研修会等対応について検討・協議していく。

いじめ防止対策

凍(りん) つまがり 俊明

質問 いじめ防止の市の基本指針を策定し1年が経過した。今後、条例化等を含めどのような工夫をしていくのか。

答 学校教育部長 学校の指導体制や対応力向上の支援、学校支援会議における学校単独での対応が困難な事案についての支援、実例研究を盛り込んだ実践的な研修をしていく。条例化等国や県、他

市の状況を調査研究する。

文化財破壊の再発防止

凍(りん) 神田 廣栄

質問 船橋市宅地開発事業に関する要綱第20条では、宅地開発事業に関し、事業者に対して報告若しくは資料の提出を求め又は勧告もできることになっているが、さらに公表することも早急に付け加えることはできないか。

答 建築部長 今回の事業者は文化財保護法に基づく所定の手続き等を実施し、市と協議していたため、勧告は難しい。

特別支援教育の専門性

市民社会ネット 三宅 桂子

質問 特別支援教員免許の保有率は100%でも当たり前だと思いが、どつか。

答 学校教育部長 教員の専門性の向上は喫緊の課題であり、引き続き人的、設備的支援と共に取り組んでいく。

子どもの貧困対策の学習サポート充実

市民社会ネット 朝倉 幹晴

質問 子どもの貧困率は16・3%、6人に1人に及ぶ。学習サポートの就学援助世帯への拡充、放課後子供教室の長期休業中での実施が必要である。将来的には、学習サポートと子ども食堂は全中学校区への設置が必要である。そのために、まずは、生活保護世帯・ひとり親世帯の学習サポート充実が出発点となる。来年度の方角性は。

答 健康福祉局長 両事業とも順調。継続実施の方角で、箇所数も含め検討する。

議案の議決結果（第4回定例会）				※ 11月21日議決										○－賛成 ×－反対	
付託委員会	議案番号	件名		公明党	自民党	日本共産党	自由民主党	凍（りん）	市民社会ネット	市民会	民進党	※1	※2	議決結果	
付託省略	第24号	平成26年度船橋市一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

議案の議決結果（第4回定例会）						※ 12月19日議決				○—賛成 ×—反対				
付託 委員会	議案番号	件名	会 派							無所属			議決 結果	
			自民 党	公 明 党	日 本 共 産 党	自 由 民 主 党	凍 （り ん）	市 民 社 会 ネ ット	市 政 会	民 主 党	※ 1	※ 2		※ 3
予算特別	第1号	平成26年度船橋市一般会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第2号	平成26年度船橋市下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第18号	平成26年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
総 務	第3号	船橋市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	第19号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	第20号	特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
健康福祉	第4号	船橋市歯科診療所条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第5号	船橋市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第6号	船橋市民生委員の定数を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第7号	船橋市婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第8号	船橋市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第9号	船橋市障害児通園施設条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第10号	船橋市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第13号	船橋市東老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	第14号	船橋市中央老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	第15号	船橋市北老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	第16号	船橋市西老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	第17号	船橋市南老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	第21号	船橋市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第22号	船橋市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第23号	船橋市地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第25号	船橋市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第26号	船橋市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
建 設	第11号	二重川2号幹線管渠築造工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
文 教	第12号	船橋市立湊中学校校舎改築工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

請願・陳情の議決結果															
付託委員会	受理番号	件名												議決結果	
総務	請願第3号	特定秘密保護法の廃止を求める意見書提出に関する請願												不採択	
	陳情第32号	各期日前投票所の投票数のウェブ上での公開に関する陳情												不採択	
	陳情第33号	「河野談話」に関する意見書見直しまたは無効化に関する陳情												採択	
	陳情第34号	従軍慰安婦問題解決に関する意見書撤回に関する陳情												採択	
	陳情第35号	従軍慰安婦問題解決に関する意見書撤回及び新たな意見書提出に関する陳情												採択	
	陳情第36号	従軍慰安婦問題解決に関する意見書撤回及び新たな意見書提出等に関する陳情												採択	
	陳情第37号	従軍慰安婦問題解決に関する意見書撤回及び新たな意見書提出に関する陳情												採択	
	陳情第38号	従軍慰安婦問題解決に関する意見書撤回及び慰安所運営の実態調査を求める意見書提出に関する陳情												不採択	
健康福祉	陳情第39号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書提出に関する陳情												不採択	
	陳情第40号	戦没者御遺骨帰還に関する法律制定に賛成の意見書提出に関する陳情												採択	
	陳情第41号	介護従事者の処遇改善を求める意見書提出に関する陳情												不採択	
	陳情第42号	宮本放課後ルーム増設に関する陳情												継続審査	
市民環境経済	陳情第43号	ごみ袋の多言語化に関する陳情												採択送付	
建設	陳情第44号	道管号外平成22年2月24日に関する陳情												不採択	
文教	陳情第45号	都市再生機構管理賃貸住宅を公共住宅として存続させ、住宅セイフティネットとして活用すること等を求める意見書提出に関する陳情												不採択	
	陳情第46号	前貝塚町465番地の市立中学校通学指定校変更に関する陳情												不採択	
付託省略	陳情第47号	地球社会建設決議に関する陳情												不採択	

可決された意見書			
◇戦没者御遺骨帰還に関する法律制定に賛成の意見書	◇地域の中小企業振興策を求める意見書		
◇「女性が輝く社会」の実現に関する意見書	◇少人数学級の継続・拡充に関する意見書		
◇従軍慰安婦問題に関する意見書			

会派の構成															
無所属	はまの太郎 ※1	高橋 宏 ※2													
	やぶうち俊光 ※3														
民進党	齊藤 誠	野田 剛彦													
市議会	中村 賢次	日色 健人													
	渡辺 静雄														
市民社会ネット	浦田 秀夫	池沢 敏夫													
	三宅 桂子	朝倉 幹晴													
凍（りん）	つまがり俊明	神田 廣久													
	小石 洋														
自由民主党	川井 洋基	佐藤 新三郎													
	大矢 敏子	七戸 俊治													
日本共産党	渡辺 和子	中 学													
	金沢 和子	石川 敏雄													
公明党	橋本 和子	藤川 浩子													
	松橋 浩嗣	仲村 秀明													
無所属	石崎 幸雄	高木 あきら													
	鈴木 いくお														
自由民主党・無所属の会	長谷川 大	いそ 尚哉													
	中原 しんすけ	川畑 賢一													
自由民主党	杉川 浩	島田 たいぞう													
	佐々木 克敏	鈴木 和美													
公明党	田久保 好晴	中村 実													

(平成26年12月19日現在)